

めむろ未来ミーティング事前質問【災害に強いまちづくり】

- No. 1
1. 災害時の停電に対応するために主要信号機の自家発電への切り替え又はバッテリーの備えが必要ではないでしょうか。
 2. 身体の不自由な方や病気（感染症も含めて）の方については、一般の方と区別して専用の屋内避難場所（病院や療養施設など）を確保しては如何でしょうか。
 3. 防災訓練のあり方について
 - ①防災訓練は一律、指定された避難場所に避難することが定番となっておりますが、地震災害は地震後の安否確認が重要と思われ、降雨災害は洪水発生前の避難が重要と思われ。そのため、中心市街地（河川流域以外）は地震を想定した安否確認（避難移動はしない。町内会で各戸見回り確認。被災者がいた場合を想定して町への報告連絡の訓練等）、河川流域は洪水災害発生前の避難を想定して、従前の避難場所への避難訓練に特化した防災訓練にしては如何でしょうか。
 - ②身体の不自由な方や病気（寝たきり）の方の避難については、町内会が役割を担っていると思われ、現実問題として安否確認は出来ませんが、避難場所への移動は出来ません（移動にはストレッチャーや介護車が必要、町内会にはありません。また若い人手が必要）。そのため、安否確認し、町への報告後は町の方で対応して頂けないでしょうか。なお、救急車は台数が限られているので、介護者やストレッチャーを有する介護施設やタクシー会社等と連携協定を結んでは如何でしょうか。
 - ③集合住宅に居住の方（町内会の非会員）については、町の方で集合住宅毎に防災対策（まずは大家さんや管理会社とのコンタクトをとる）を作るようにしては如何でしょうか。町内会と連携を取る必要がある場合もあると思われ、集合住宅内の代表者を決めてもらい、町内会と連携を取ることは可能かと思われ。
 - ④避難所での会場設営やダンボールベット作りなどは、経験者が多ければ多いほど実際の災害時に機能しますので、引き続き取り組みをお願いします。

- 回答
- 1 信号機は公安委員会が管理しています。公安委員会では、停電時においても信号機が作動するよう「防災対応型信号機」の設置を全国的に進めており、北海道においても現在まで360基が整備されています。そのうち十勝管内においては13基整備されていますが、本町には整備されていません。今後も段階的に整備されることと考われ、状況は注視していきたく思われ。
 - 2 通常の収容や保護が困難な方を対象とした「福祉避難所」を、町内の福祉施設2箇所に協力を頂き指定しています。また、町内にある宿泊施設などに対し、災害時に避難所として協力を得ることができるよう現在協議中であり、今後も支援が必要な方や様々な感染症対策などを考われ、避難所の確保に努め、
 - 3
 - ①本町の防災訓練は、水害想定訓練、総合（地震）防災訓練、冬の避難体験会とし、それぞれの特性に合わせた訓練を実施しています。防災訓練につきまは、個々の「防災・減災」に繋がるよう、今回頂いた御意見も踏まえながら、今後も計画してまいります。
 - ②本町は、避難行動に支援が必要な方に限らず、自動車運送企業と大規模な災害時に自動車輸送に係る協力を得るべく災害協定を締結していますが、大規模な災害時には、地域の協力が不可欠ですので、「自助」、「共助」、「公助」と繋がるよう御協力をお願いします。
 - ③町内会へ加入されていない方の防災体制は、本町のみならず課題を抱える市町村が多々あると認識しています。防災に限らず町内会への加入促進に係る課題でもあり、今後の検討課題として受け止めさせていただきます。
 - ④今後も各種防災訓練や小中学校への防災教育などを通じ、取り組んでまいります。

No. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・居住地は2町内会の境界にあり、年齢構成は70代12戸、60代2戸、50代1戸、30代1戸といわば高齢者集団。 ・当地は水害の危険性は極めて低いものの、地震は他所と同様。 <p>このような地域で大きな地震に襲われた場合、公助はアテにできないとして、どのご老人から誰が担ぎ出すのか、どのような体制で臨むのか、心許ないものがある。</p> <p>どの家から安否確認あるいは搬送しなければならないのか、2町内会で協議しておくことが重要と思われる。誰がその音頭を取るのでしょうか？</p>
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な災害時には地域の協力が不可欠であり、災害の規模によっては、自主防災組織同士が互いに協力する必要もありますので、自主防災組織同士が連携を図れるような取組も検討してまいります。
No. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・桜木町内会の避難場所は鉄南保育所となっておりますが、トイレが完備されておりません。又、南コミセンに避難する人も施設トイレだけでは不足します。避難時のトイレは完備されていますか。 ・避難所等の設定でTVを見ていますと、プライバシー保護のためテントを配備されておりました。芽室町はどうですか。全避難場所に準備すると避難所が狭くなりますが、それらを考慮して避難所の確保をお願いします。 ・役場職員、議員、町民が常に危機意識を持ち災害に強いまちづくりが大切かと思えます。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所を開設・運営した際のトイレに対する課題は多々あり、全てを解消することは難しいのが現状です。本町は、簡易トイレや感染症を考慮した自動ラップ式のトイレを備蓄していますが、今後も検討を進めてまいります。 ・避難所に係るテントやパーテーションは、プライバシーの保護や様々な感染症への対策となることから、本町においても備蓄を進めています。パーテーションなどは全避難所に設置するのではなく、避難所に個室がなく感染症などのリスクが高まる箇所に設置して使用する考えです。また、町内にある宿泊施設などに対し、災害時に避難所として協力を得ることができるよう現在協議中であり、避難所の確保に努めています。 ・頂きました御意見を真摯に受け止め、本町が一体となり「防災・減災」に取り組んでまいります。
No. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時におけるライフラインの確保をどのように考えていますか。（電気、ガス、水道、食料） ・独居老人宅の見守りは定期的に行っていますが、災害時はお隣さんとの関係が重要と考えます。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な災害を想定し、避難者の3日間分の防災備蓄品を計画的に備えています。また、町内に耐震性貯水槽を備えているほか、様々な支援をいただけるよう各企業と災害協定を締結していますが、御家庭におかれましても災害時の持ち出し品を確認し、災害に備えていただきますようお願いいたします。 ・御意見をいただきましたように、大規模な災害時には地域の協力が不可欠となります。現在も町内会において、防災に係る様々な取り組みをして頂いておりますが、今後も引き続き御協力をお願いします。